

株式会社千葉銀行 会社説明会



2021年1月
株式会社 **千葉銀行**
(東証第1部 : 8331)

目次

千葉銀行について

千葉銀行の概要	3
店舗ネットワーク	4
千葉県のポテンシャル	5
千葉県を取り巻く環境変化	6
他行との比較	7-8
連結利益の推移	9
健全性に関する指標	10
新型コロナウイルスへの対応	11

中期経営計画

第14次中期経営計画の概要	13
基本方針Ⅰ	14
基本方針Ⅱ	15
基本方針Ⅲ	16-18
基本方針Ⅳ	19-20

デジタル戦略

環境認識	22
カスタマーエクスペリエンス向上	23
生産性向上	24
ちばぎんアプリ	25
法人ポータル	26
デジタルコンセプトムービー	27

業績概要・株主還元

業績概要	29
配当・自己株式取得	30
株主優待制度	31

参考資料

株式指標・千葉銀行株価の推移	33
2021年3月期 第3四半期決算の概要※	34
2021年3月期 配当予想の修正（増配）※	35

※2021年2月5日開示情報

千葉銀行について

千葉銀行の概要

会社概要（2020年9月30日現在）

商号	株式会社千葉銀行
上場	東証1部（証券コード：8331）
設立	1943年3月
代表者	取締役頭取 佐久間 英利
従業員数	4,300人
総資産	16兆8,054億円
資本金	1,450億円
発行済株式数	815,521千株
時価総額	4,721億円

「日経225」「JPX日経400」採用銘柄



千葉銀行
マスコットキャラクター
「ひまりん」

グループ会社一覧

クレジットカード

ちばぎんジェーシービーカード
ちばぎんディーシーカード

リース・ベンチャーキャピタル

ちばぎんリース
ちばぎんキャピタル

調査・コンサルティング

ちばぎん総合研究所
ちばぎんコンピューターサービス
T&Iイノベーションセンター

信用保証・債権管理

ちばぎん保証
ちば債権回収



証券・資産運用

ちばぎん証券
ちばぎんアセットマネジメント

業務委託・職業紹介

ちばぎんキャリアサービス
ちばぎんハートフル
総武

ちばぎん幕張ビル



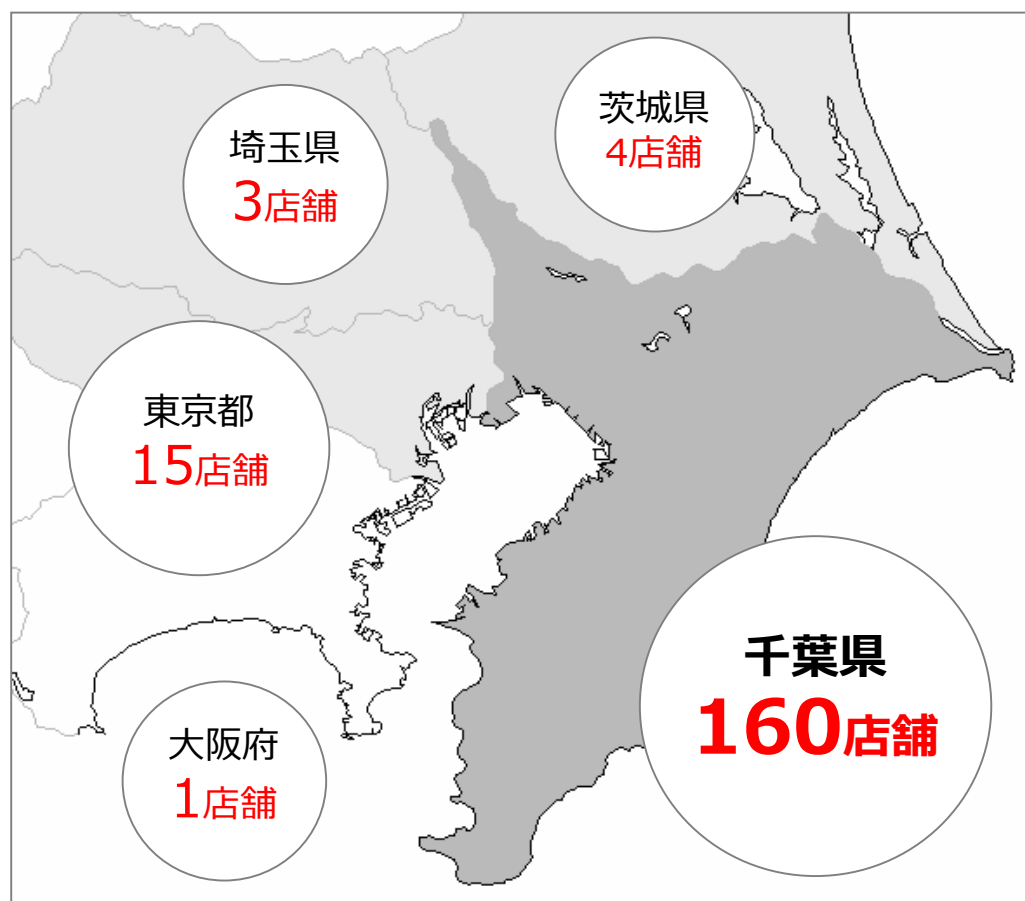
グループ9社の本社を幕張新都心地区の「ちばぎん幕張ビル」に集約

店舗ネットワーク

国内外の店舗数（2020年9月30日現在）

国内拠点

183店舗、両替出張所 3か所



海外拠点

3店舗（ニューヨーク、香港、ロンドン）
3駐在員事務所（上海、シンガポール、バンコク）

千葉県のポテンシャル

経済環境が良好な千葉県で圧倒的な営業基盤を確立

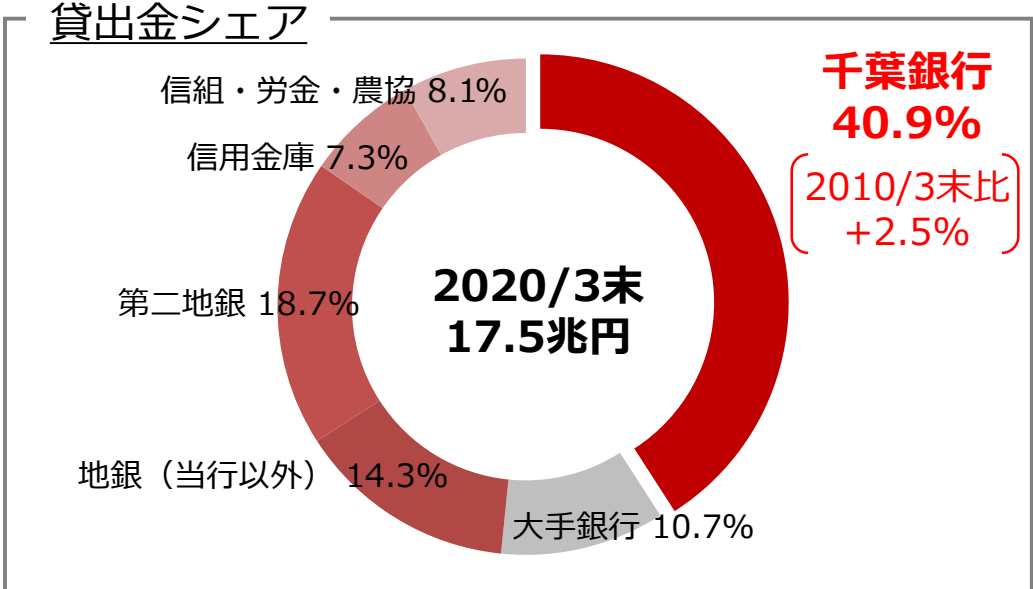
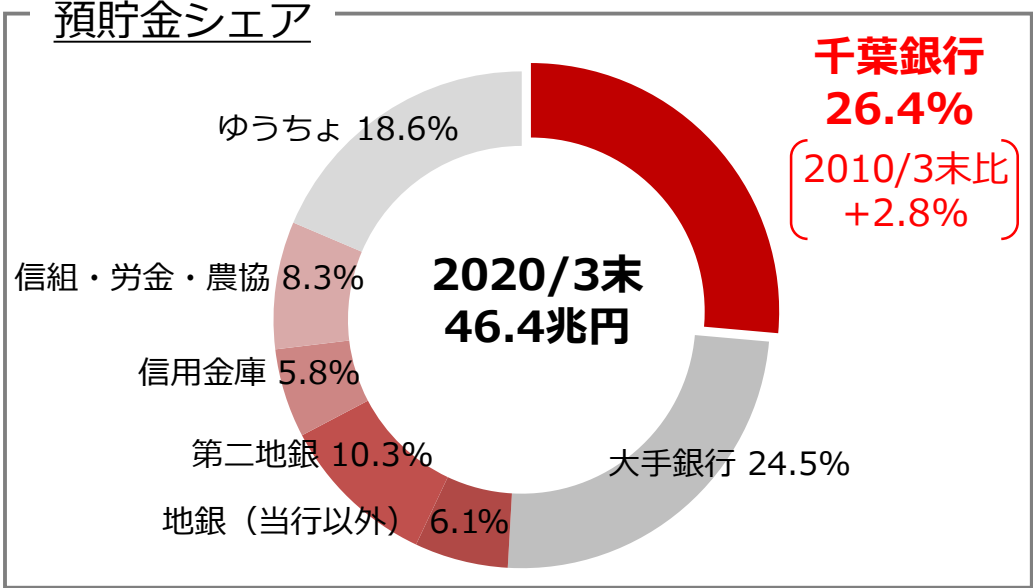
千葉県の成長力



交通インフラ網の整備・各種開発

- 成田エリア開発**
- 成田空港第3滑走路(C滑走路)(2029年予定)
- 圏央道延伸**
- 大栄JCT-松尾横芝IC (2024年度開通予定)

- レジャー等**
- ディズニーランド新エリアオープン (2020年9月)
- 浦安に「トイ・ストーリー」ホテルオープン(2021年度予定)
- 木更津に「ポルシェ・エクスペリエンスセンター」オープン(2021年予定)



千葉県を取り巻く環境変化

新型コロナウイルスの影響による地方移住への関心の高まり

SUUMO物件閲覧数（関東）

（2020/1～8月の変化率上位）

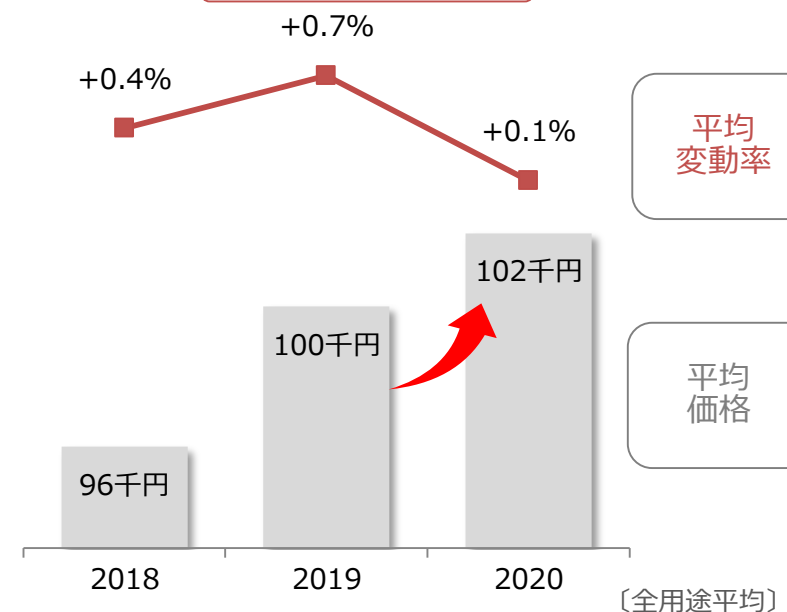
順位	市区郡名	都道府県	増減率	順位	市区郡名	都道府県	増減率		
中古戸建	1位	富津市	千葉	305.9%	新築戸建	1位	八街市	千葉	278.7%
	2位	館山市	千葉	269.1%		2位	千葉市若葉区	千葉	203.4%
	3位	那須郡那須町	栃木県	241.4%		3位	藤沢市	神奈川	189.2%
	4位	木更津市	千葉	222.3%		4位	品川区	東京	183.0%
	5位	千葉市美浜区	千葉	213.5%		5位	千葉市花見川区	千葉	181.9%

出所：株式会社リクルート住まいカンパニー

千葉県 基準地価

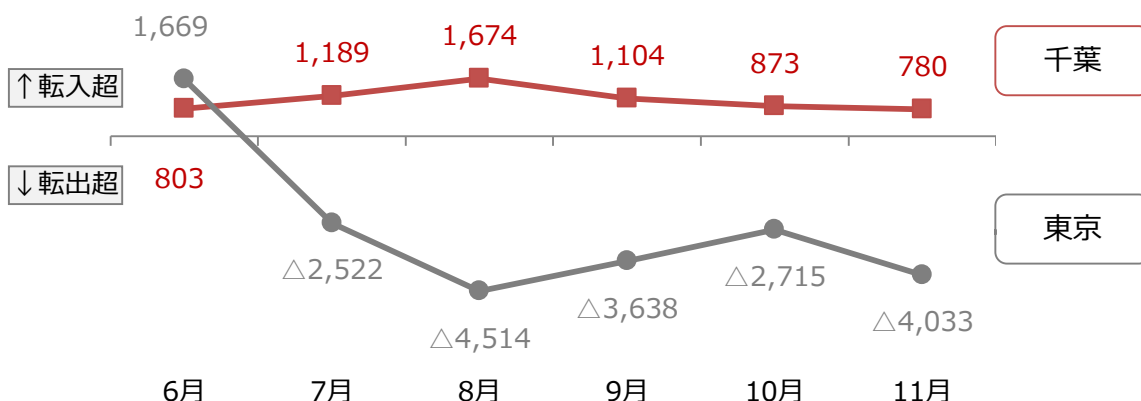
（2020年7月）

上昇傾向を維持



都道府県間の転入・転出

出所：総務省



移住・定住オンラインセミナーの実施

2021年1月に横浜銀行と共催

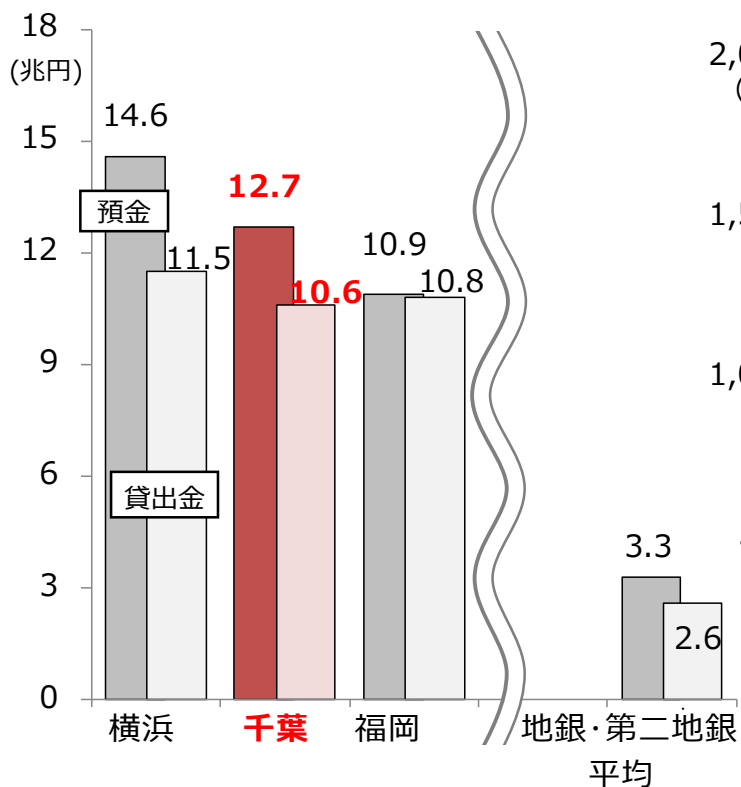
テーマ：移住、二拠点居住、ワーケーション

協力：千葉県南房総市、神奈川県三浦市

他行との比較①

地銀平均を大きく上回る資産規模・利益水準

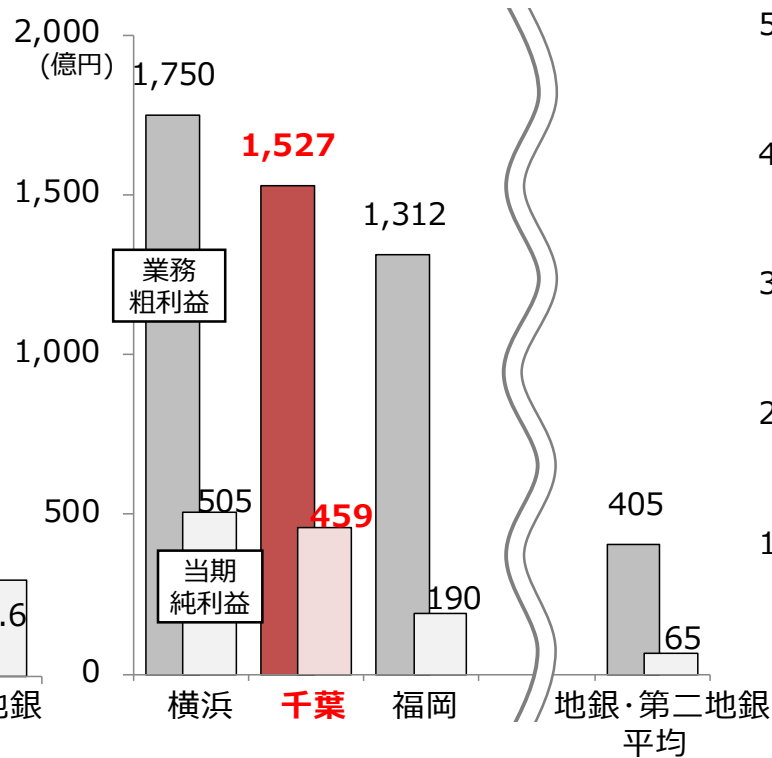
預金・貸出金残高



(2020年3月期末 単体ベース)
出所：各社開示資料、全国銀行協会

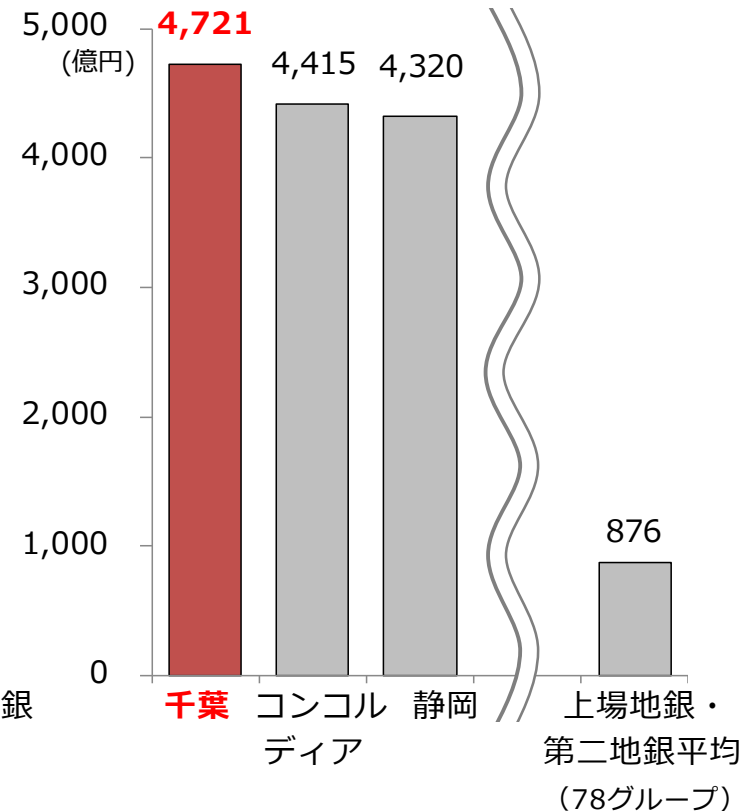
業務粗利益・当期純利益額

(業務粗利益：一般企業の売上総利益に相当)



(2020年3月期末 単体ベース)
出所：各社開示資料、全国銀行協会

時価総額



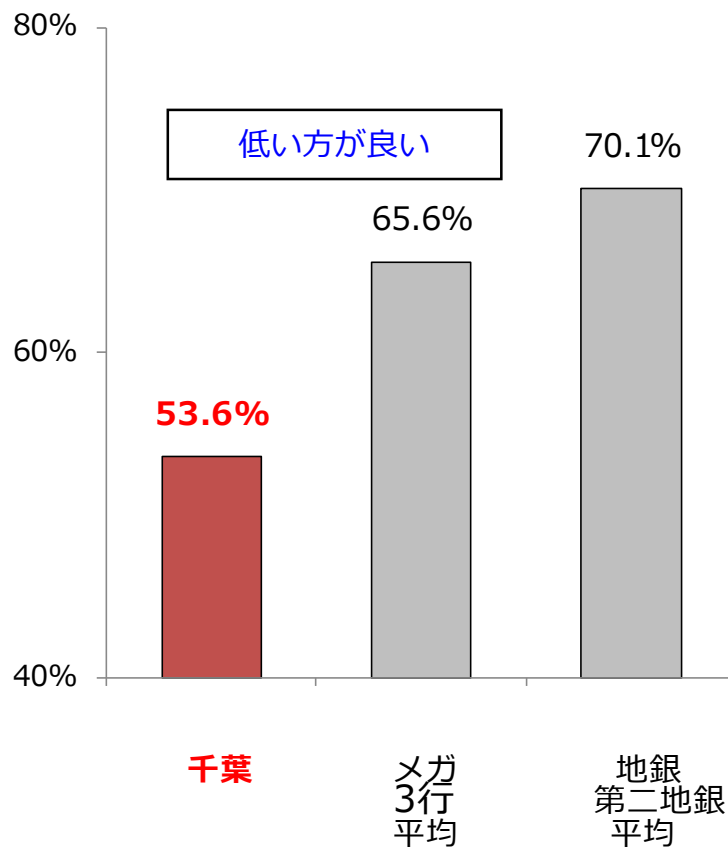
(2020年9月末現在)
出所：ブルームバーグデータにより当行作成

他行との比較②

邦銀トップレベルの効率的な事業運営

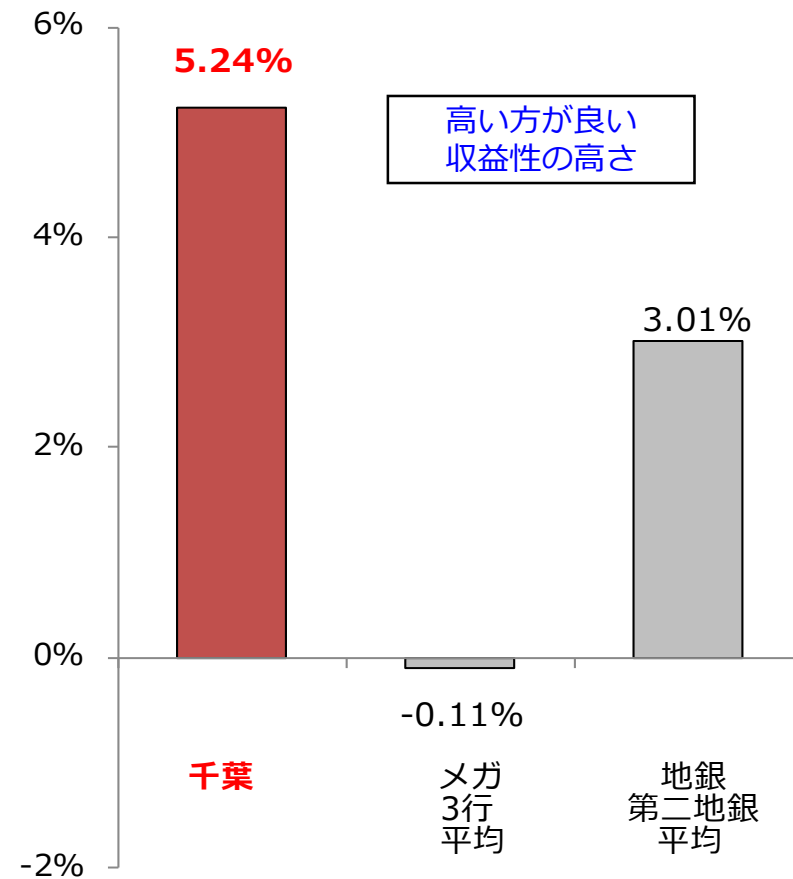
経費率 (OHR)

(経費/業務粗利益)



自己資本利益率 (ROE)

(当期純利益/純資産〔年度平均〕)

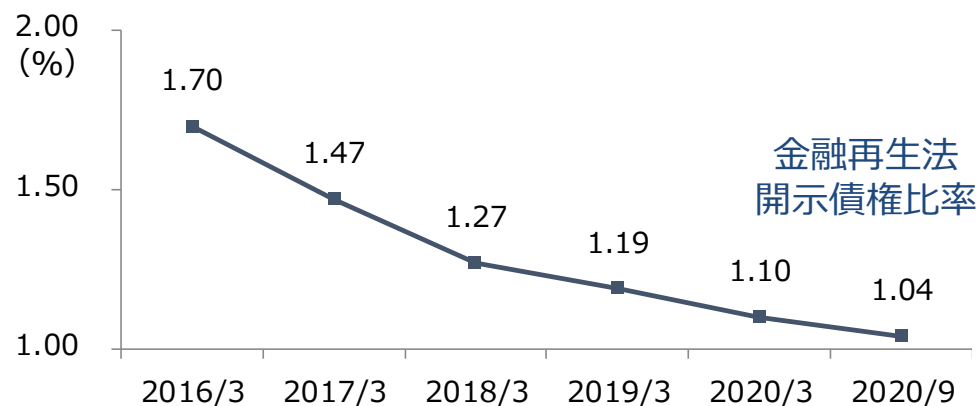


出所：ニッキンレポート
(2020年3月期末 単体ベース)

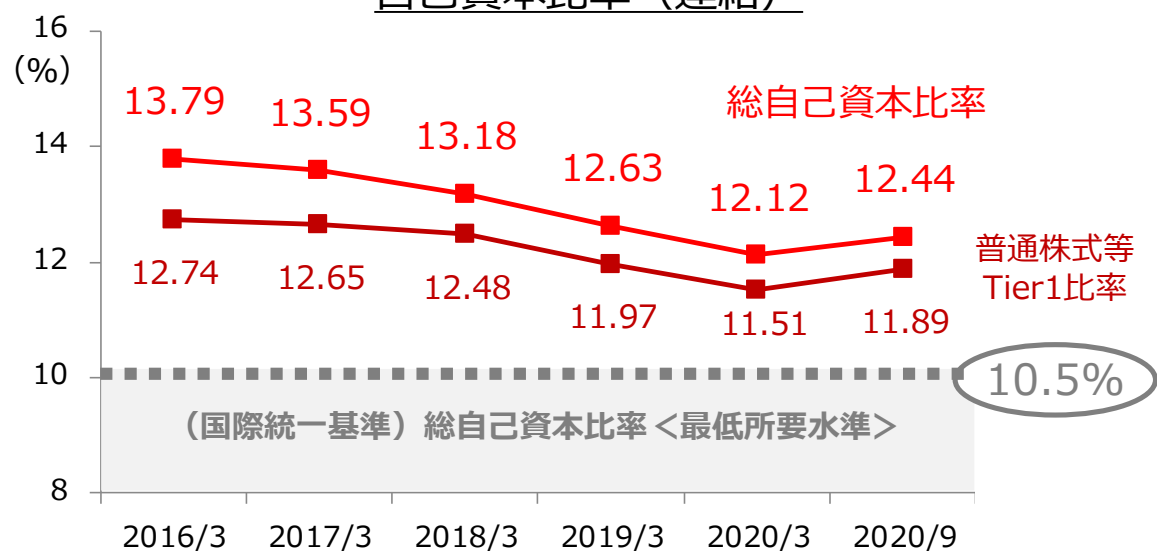
健全性に関する指標

高い健全性を維持

不良債権比率（単体）



自己資本比率（連結）



主な銀行の格付比較

「A1」を有する地方銀行は、千葉銀行・静岡銀行のみ

A1	千葉銀行	
	静岡銀行	
	三菱UFJ銀行	
	みずほ銀行	
	三井住友銀行	
A2	三井住友信託銀行	
	横浜銀行	(2019/11「A1」から引き下げ)
	中国銀行	(2019/11「A1」から引き下げ)
A3	りそな銀行	
	福岡銀行	
	常陽銀行	(2019/11「A2」から引き下げ)
	群馬銀行	(2019/11「A2」から引き下げ)

Moody'sによる長期格付（2020年12月31日現在）

新型コロナウイルスへの対応

地域金融機関としての役割を果たし、お客さまを支援

金融機能を維持しながら
お客さまと職員の健康に最大限配慮した対応

地域金融機関の役割・使命・存在意義を
果たす丁寧な活動

お客さま	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 営業店における感染予防の徹底 (アクリル板の設置、昼休業の導入、設備の消毒等) ✓ 非対面チャネルやキャッシュレスサービスの拡充 (ちばぎんアプリ、通帳アプリ等)
職員	<ul style="list-style-type: none"> ✓ テレワーク端末の増設 ✓ 子連れ出勤の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の臨時休業や保育園の休園などにより、出勤が困難な職員に対し、職場への「子連れ出勤」を受け入れ ・ ファミリールームの設置

コロナ関連融資取組状況

(2020年12月末現在)

実行件数：12,000件超
実行金額：約6,000億円

カウンセリング等とおした
柔軟な対応によって、
ローンをご利用いただいている
個人のお客さまもサポート



地域社会への支援

医療応援私募債の取扱い開始

私募債発行企業から受取る引受手数料の一部を、発行企業が指定する病院等の医療機関を運営する自治体や学校法人、医療法人等に対して、金銭の寄付や物品を寄贈

発行実績
6,520百万円/46件
(2020年6月～12月末)

寄付・寄贈

- ・ 千葉大学医学部附属病院にフェイスシールド8,000セットを寄贈
- ・ 千葉県に5百万円を寄付※
※寄付金の一部は、グループ役職員からの募金を充当



フェイスシールド
寄贈式の様子

中期経営計画

第14次中期経営計画の概要

当行グループが果たすべき使命

お客さまや地域社会のパートナーとして最新の金融サービスを提供し、地域経済の持続的な発展に貢献する

名称

第14次中期経営計画 NEXT STEP 2023 ～未来へ、つながる・超える～
(計画期間 2020年4月1日～2023年3月31日)

ビジョン

金融機能の深化と地域金融の新たなモデル構築による、「カスタマー・エクスペリエンス」の向上

基本方針

基本方針Ⅰ

「お客さまに寄り添い共に進化し続けます」

基本方針Ⅱ

「お客さまの未来のために新たな価値を創造し続けます」

基本方針Ⅲ

「提携戦略を高度化します」

基本方針Ⅳ

「サステナブルな経営を実現します」

目標とする
指標

親会社に帰属する当期純利益

600億円

連結ROE（株主資本ベース）

6%台半ば

単体OHR

50%台前半

単体OHR = 経費/コア業務粗利益

基本方針 I お客さまに寄り添い共に進化し続けます

お客さま起点で考え、最適なサービスを、最適な方法で、最適なタイミングで提供し、
カスタマー・エクスペリエンスを向上

一人一人の生活に寄り添った相談機能の強化

あらゆるライフイベントでの
最適なサービス提供

- 超高齢化社会における、お客さまの悩み解決や希望にこたえるサービスの提供
- お客さまの資産状況に合わせたサービスの提供

個人
ビジネス

パートナーとしての経営課題解決力の強化

多種多様な企業の経営課題にお応えする
高度なコンサルティング・サービス拡充

- 高度なスキルを活用したM&A・事業承継への取組
- 高度な外部パートナーを活用
- 海外ネットワークを活用した海外事業のサポート

法人
ビジネス

地域課題解決力の向上による地方創生の取組強化

- 地域の課題に合わせた地方創生へのグループ一体となった取組み
- 自然災害からの復旧・復興に向けた継続的支援
- 自治体・地元企業・大学等と連携した協業体制

地方創生

お客さま
起点

店舗・
チャネル

お客さま接点の強化を支える店舗機能などの最適化

- 相談対応力向上に向けた店舗機能の高度化・最適化

基本方針Ⅱ

基本方針Ⅱ お客さまの未来のために新たな価値を創造し続けます

デジタルテクノロジーや情報資源の活用
による新たな価値の提供

「対面が主・デジタルは対面の補完」から
「デジタルが主・対面は差別化チャネル」へ

対面
(主)対面
(差別化チャネル)デジタル
(補完)デジタル
(お客さまとの接点ベース)

ちばぎんアプリ

生活に溶け込み、すべてのお客さまに選ばれる
基本アプリ

法人ポータル

対面の営業力に加え、非対面のコミュニケー
ションを強化

キャッシュレス（加盟店・カード事業）

TSUBASAキャッシュレスプラットフォームを
構築し、総合決済ソリューションを提供

既存ビジネスの枠組みを超えた
新たなサービスの創出や新事業の展開

- 新事業戦略担当
- 新事業共創プロジェクト
(千葉・横浜パートナーシップ)



外部パートナーとの連携

地域の
課題

- API共通基盤との接続拡大
- ビジネスコンテスト受賞アイデアの具現化
- 古民家・空き施設活用
- 外国人向け・高齢者向けサービス

取引先・
他金融機関

当行グループのノウハウ・機能の提供

- 取引先等への業務改善コンサルティング
- グループ会社機能の提供拡大

規制
緩和等

規制緩和等を踏まえた検討

- 地域商社設立
- 異業種連携プラットフォーム構築
- 店舗空きスペースを活用したシェアオフィス設置
- 遊休不動産の有効活用
- 金融仲介プラットフォーム子会社

基本方針Ⅲ-1

基本方針Ⅲ 提携戦略を高度化します

個人のお客さま



法人のお客さま



千葉銀行

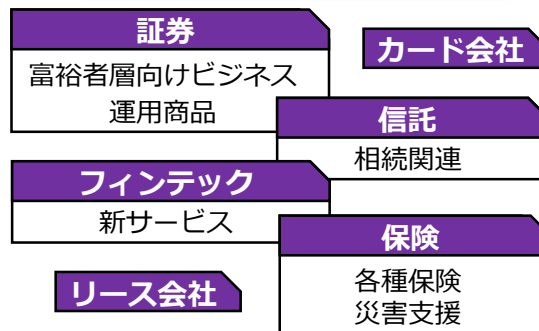
- お客さまの悩みやニーズに対する最適な解決策・サービスを提供
- タイムリーでパーソナライズされた必要なご提案

他行連携の高度化

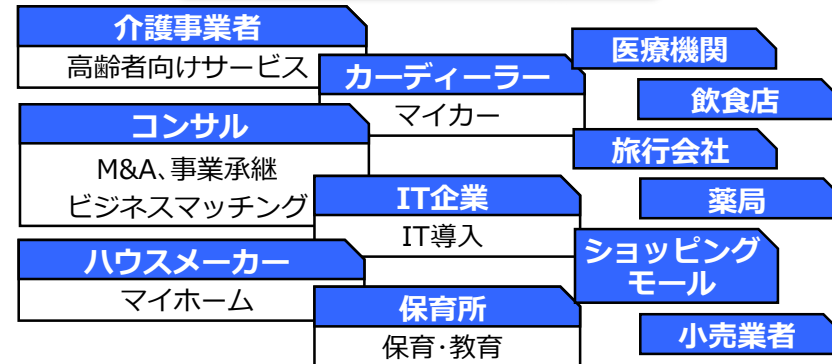


異業種との連携強化

金融業



非金融業



基本方針Ⅲ-2

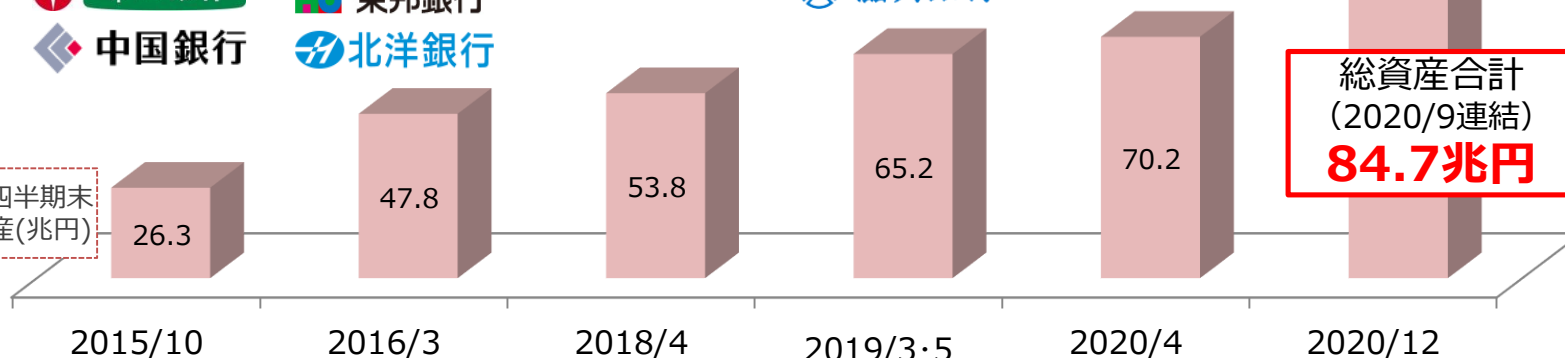
TSUBASAアライアンス



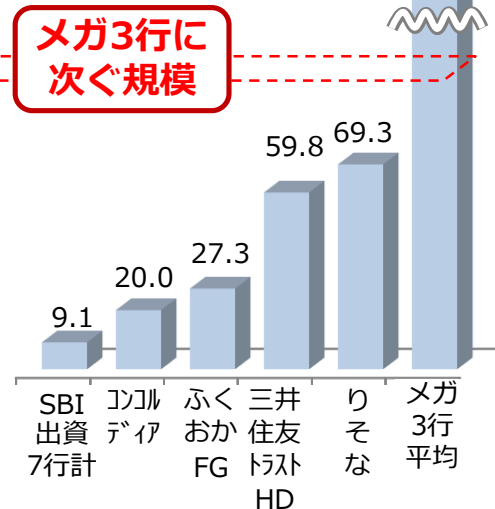
広域かつ大規模な連携によるスケールメリットを活かした事業の展開



直前四半期末
総資産(兆円)



総資産合計
(2020/9連結)
84.7兆円



メガ3行に
次ぐ規模

- ▶ **地銀プラットフォームとして先進的な取組みへの進化・発展**
- ▶ **地域のためにあるべき姿の追及**



- ▶ 各種システム共同化の一層の促進
- ▶ 大型投資案件など海外での共同ビジネス展開
- ▶ TSUBASAアライアンス株式会社を設立

基本方針Ⅲ-3

千葉・武蔵野アライアンス / 千葉・横浜パートナーシップ

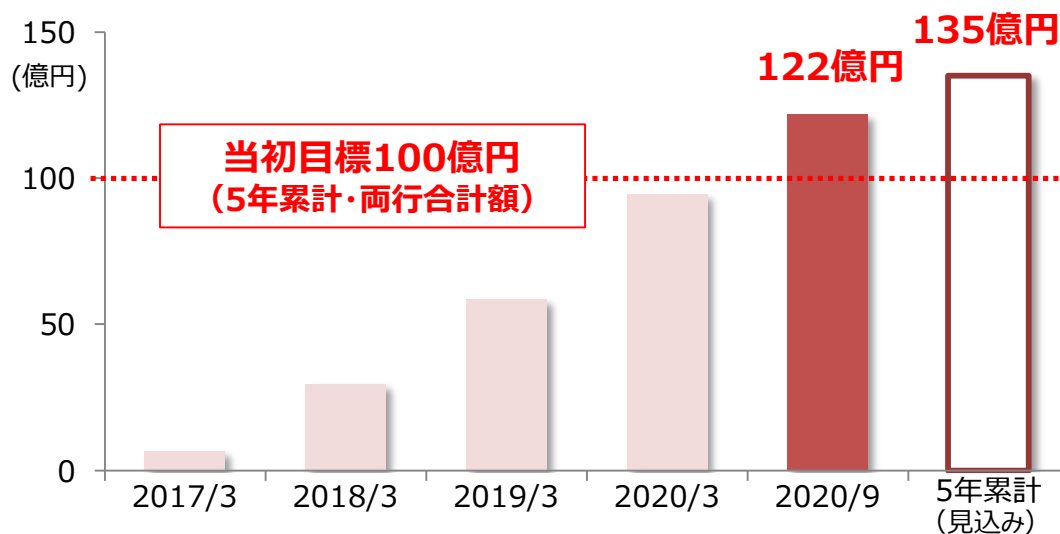


あらゆる分野における連携を志向した
相対での協業施策の深化



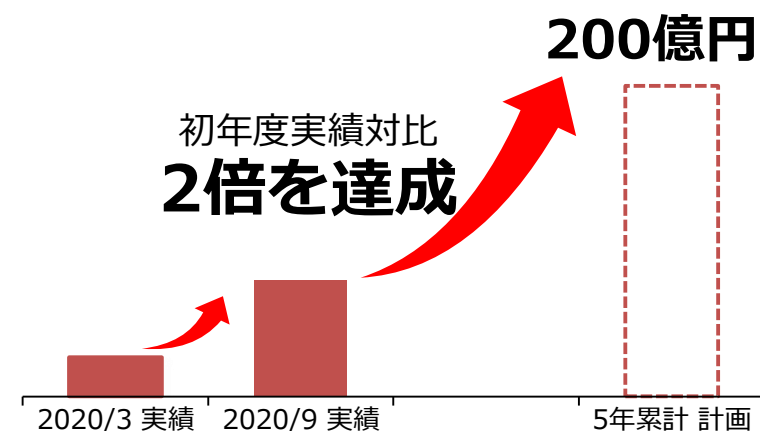
千葉・横浜パートナーシップ 地銀トップ行同士のノウハウを活用した
CHIBA YOKOHAMA PARTNERSHIP 先進的なサービスや新事業の創出

連携効果 累計・両行合計額



- **可能な限りの共同化**を検討
- 東京エリアにおける協業の強化
- グループ会社活用によるソリューション多角化

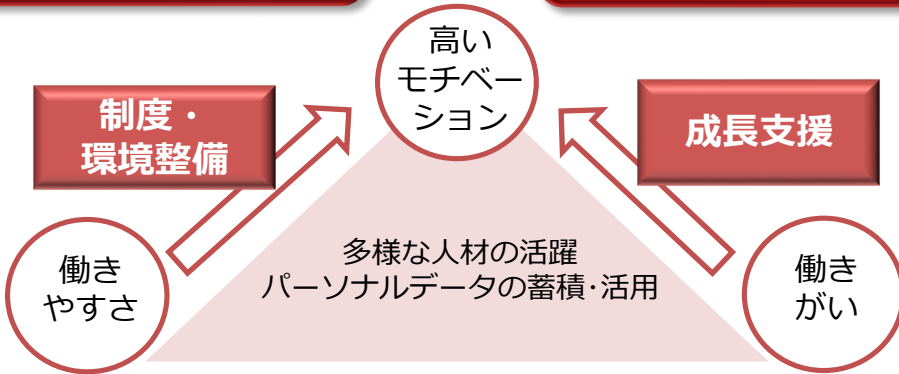
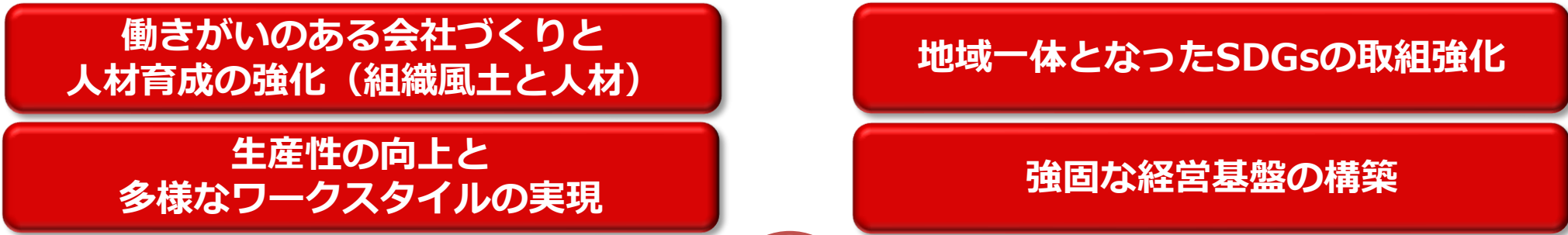
連携効果 累計・両行合計額



- 都内を中心とした**ファイナンス手法高度化・協働の強化**
- 海外拠点の相互活用
- 運用商品の共同組成
- 住宅ローン商品の共同企画
- 高齢者向けの新たなビジネス創出

基本方針Ⅳ-1

基本方針Ⅳ サステナブルな経営を実現します



ちばぎん新本店ビル
2020年9月竣工



基本コンセプト

- 地域社会との共生
- 働き方改革による生産性向上
- BCP（業務継続態勢）の強化
- 環境への配慮

働き方改革

- モバイル端末等のインフラ整備、テレワーク促進
- 新本部棟の中央階にフリーエリアを設置



ダイバーシティ推進

- 女性・シニア・パートタイム職員の活躍
- 障がい者雇用の一層の充実

女性 管理職比率 17.4%	女性 リーダー職 比率 31.7%	ちばぎん ハートフル 障がい者 雇用数 34名
-----------------------------	-----------------------------------	--

女性比率：2020年10月1日現在
障がい者雇用数：2020年6月1日現在

業務効率化

- RPA・AI等の活用
- 業務量削減…30万時間（最終年度）

育成人材枠・中途採用の強化

- 専門領域育成者…150名程度（3年間）
- 中途採用人数 …50名程度（最終年度）

ダイバーシティの 取り組みへの外部評価

「共働き子育てしやすい企業2020」
ランキング

第2位 / 540社中

(日経DUAL <https://dual.nikkei.com/>)

「女性が活躍する会社BEST100」
ワークライフバランス度部門

第3位 / 542社中

(日経WOMAN 2020年6月号)



基本方針Ⅳ-2

地域一体となったSDGsの取組強化

持続的経営 = 「長期志向」 + 「社会価値（社会課題の解決） + 経済価値」

ちばぎんグループSDGs宣言

テーマ	重要課題	SDGsのゴール
地域経済社会	地域経済とコミュニティの活性化に貢献します	8 持続的成長、9 産業・イノベーション、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップを強化しよう
高齢化	高齢者の安心・安全な生活を支えます	3 健全な生活と長寿、11 持続可能な都市とコミュニティ、16 平和と公正な社会を築こう、17 パートナーシップを強化しよう
金融サービス	より良い生活をおくるための金融サービスを提供します	1 貧困をなくそう、4 質の高い教育をみんなに、8 持続的成長
ダイバーシティ	ダイバーシティと働き方改革を推進します	4 質の高い教育をみんなに、5 性別平等、10 人や国の不平等をなくそう、17 パートナーシップを強化しよう
環境保全	持続可能な環境の保全に貢献します	2 健全なエネルギー、6 きれいな水とトイレを世界中に、7 持続可能なエネルギー、12 つぶやみ消費を促進しよう、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう、17 パートナーシップを強化しよう

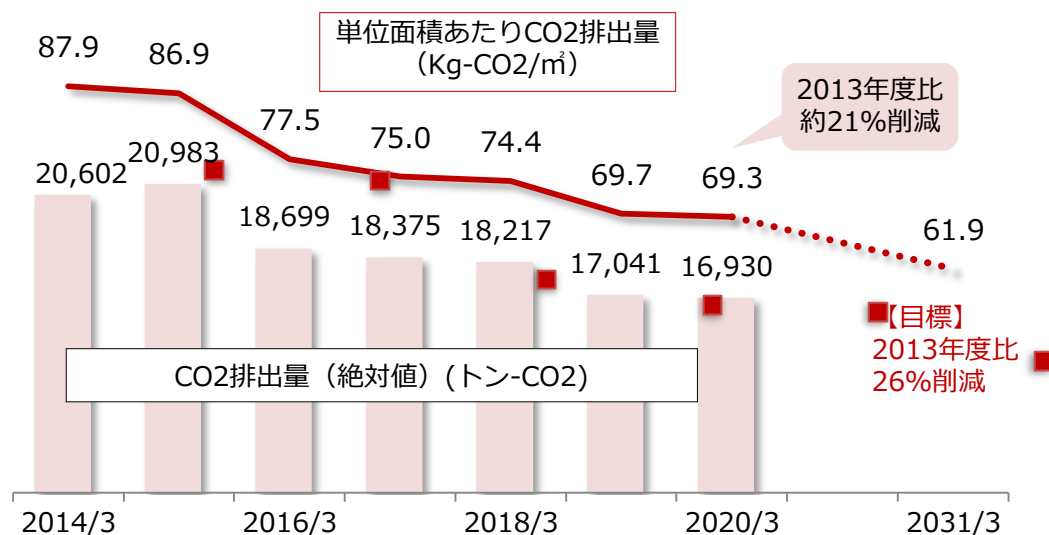
環境ファイナンスの推進

2020/9末	融資残高
太陽光発電	1,198億円
バイオマス発電	102億円
風力発電	77億円
水力発電	3億円
合計	1,379億円

当行融資による
再生可能エネルギー発電量（累計）

- ・年間発電量 : 1,330MWh
- ・世帯数換算 : 約95万世帯
- ・CO2削減効果 : 約160万トン

CO2排出量の推移



生活困窮者への食品提供に向けた取組み

- ✓ 従業員食堂への開発途上国の食糧支援プログラム「TABLE FOR TWO」の導入
- ✓ 社会福祉法人千葉県福祉協議会・フードバンクちばと「食品提供等に関する包括連携協定」を締結

デジタル戦略

コロナ禍を踏まえたデジタル化の加速

従来の環境認識

- デジタル技術の急速な進展
- キャッシュレス化
- 異業種の銀行業参入
- 働き方改革の進展
- マイナス金利の継続



コロナウイルスの影響

- 対面での面談機会の減少
(来店が減る・訪問が減る)
- 在宅勤務の定着
(出勤が減る)
- 価値観・ライフスタイルが変化

リモートの
拡大



【Withコロナ・Afterコロナ】

デジタル化が一層重要なテーマに

当行グループのDX

「**ビジネスモデル**」を変革する

顧客との関わり・チャネル・商品・提案力や提案方法

「**ワークスタイル**」を変革する

働く場所・業務フロー・組織文化や人材スキル

DXにより実現したいこと

CX※の向上

※ カスタマー・エクスペリエンス



生産性の向上

第14次 中期経営計画

NEXT STEP 2023

～未来へ、つながる・超える～

2020. 4. 1 ➡ 2023. 3. 31

ビジョン

金融機能の深化と
地域金融の新たな
モデル構築による

「**カスタマー・エク
スペリエンス**」の向上

カスタマー・エクスペリエンス向上

カスタマー・エクスペリエンス (CX) 向上に向けて

顧客の深掘りによりCX向上

個人
アプリ



法人
ポータル

情報を蓄積・一元化

- ・取引履歴
- ・家族構成
- ・家族情報
- ・ライフプラン
- ・保有資産、不動産
- ・興味、関心
- ・生活動線 ...



あらゆる取引をデジタルで完結

情報活用 ⇒ パーソナライズ



情報を蓄積・一元化

- ・取引履歴
- ・財務分析
- ・商流
- ・資金繰り
- ・事業ポートフォリオ
- ・オーナー情報 (住所・資産) ...

デジタルではアプリ・ポータル上で、リアルでは渉外・窓口がタブレットで情報を活用
個客ニーズに即したサービス・商品を提供、提案

地域商社・キャッシュレス等をフックにしてCXをさらに向上

規制緩和を活用した
各種新事業

- 地域商社 [Eコマース・プラットフォーム]
- ※その他、各種新事業を検討中



TSUBASA キャッシュレス プラットフォーム

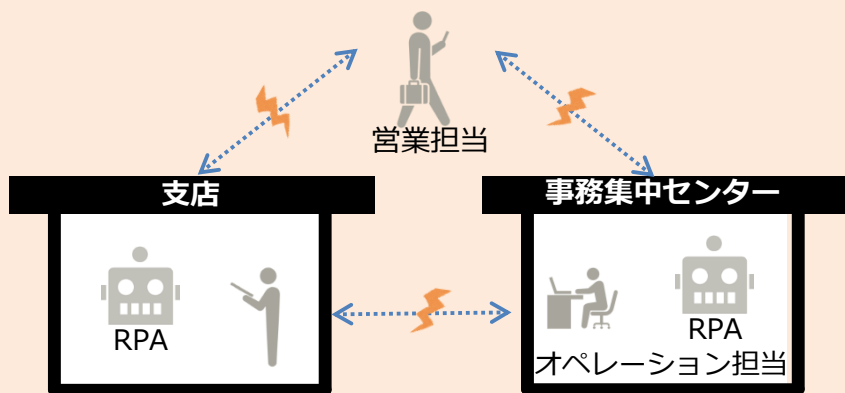


生産性向上

生産性向上に向けて

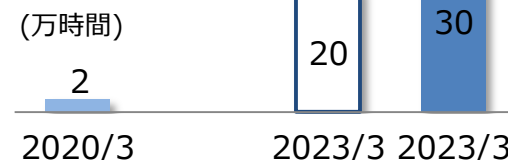
目指すべき姿

定型的作業・判断は**データを使って自動**で行う。
離れた場所でも「一連の仕事」を完結できる。



業務削減量

当初計画より
10万時間上積み



(当初計画) (見直し後)
2023/3計画

営業担当

タブレット端末で

- 金融取引・契約ができる
- 本部専門人員とリモート相談できる



- 高度な提案ができる
- 訪問せずにリモート営業できる

店頭業務

- **ペーパーレス・印鑑レス・キャッシュレス**でデジタルに適した業務フローを確立
- 来店せずにリモート相談ができる



事務集中部門への
事務集約を促進

在宅でも事務処理が可能に

在宅勤務

- 業務内容を問わず、出勤せずに業務ができる



事務集中センター

- 本部では、**RPA・AI**等を活用して、シンプルかつ無駄のない**自動化・システム化**された業務フローが実現



TSUBASA共同化の実現



ちばぎんアプリ

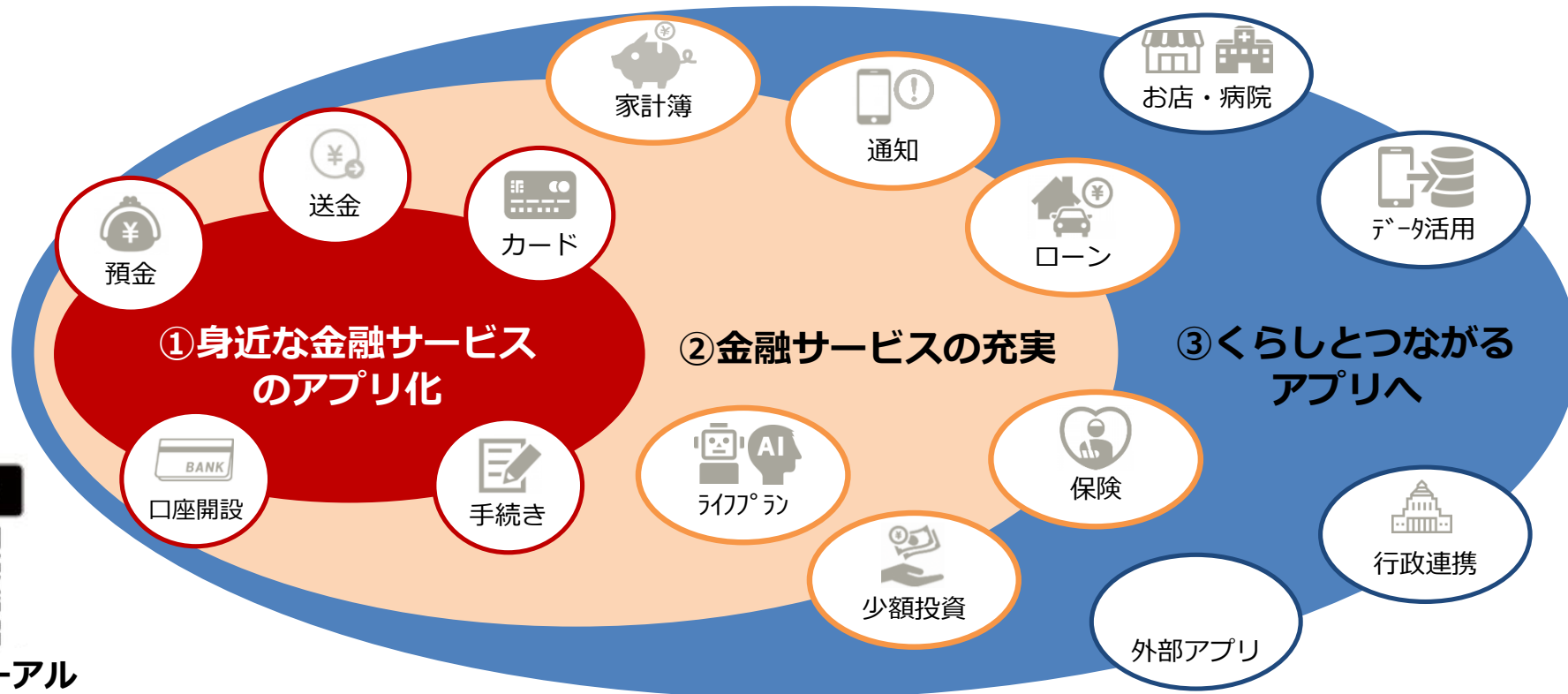
「くらしとつながるアプリ」へ



ちばぎんアプリ



2020年4月リニューアル
TSUBASA FinTech共通基盤上に構築



第1フェーズ 2020年3月期 上期 実施済

- ・残高・入出金明細照会
- ・振替
- ・通帳アプリ連携

第2フェーズ 2020年11月 実施済

- ・定期預金取引
- ・振込（行内宛）
- ・デビットカード連携
- ・住宅・無担保ローン申込
- ・Apple Pay・Google Pay連携
- ・外部アプリ連携



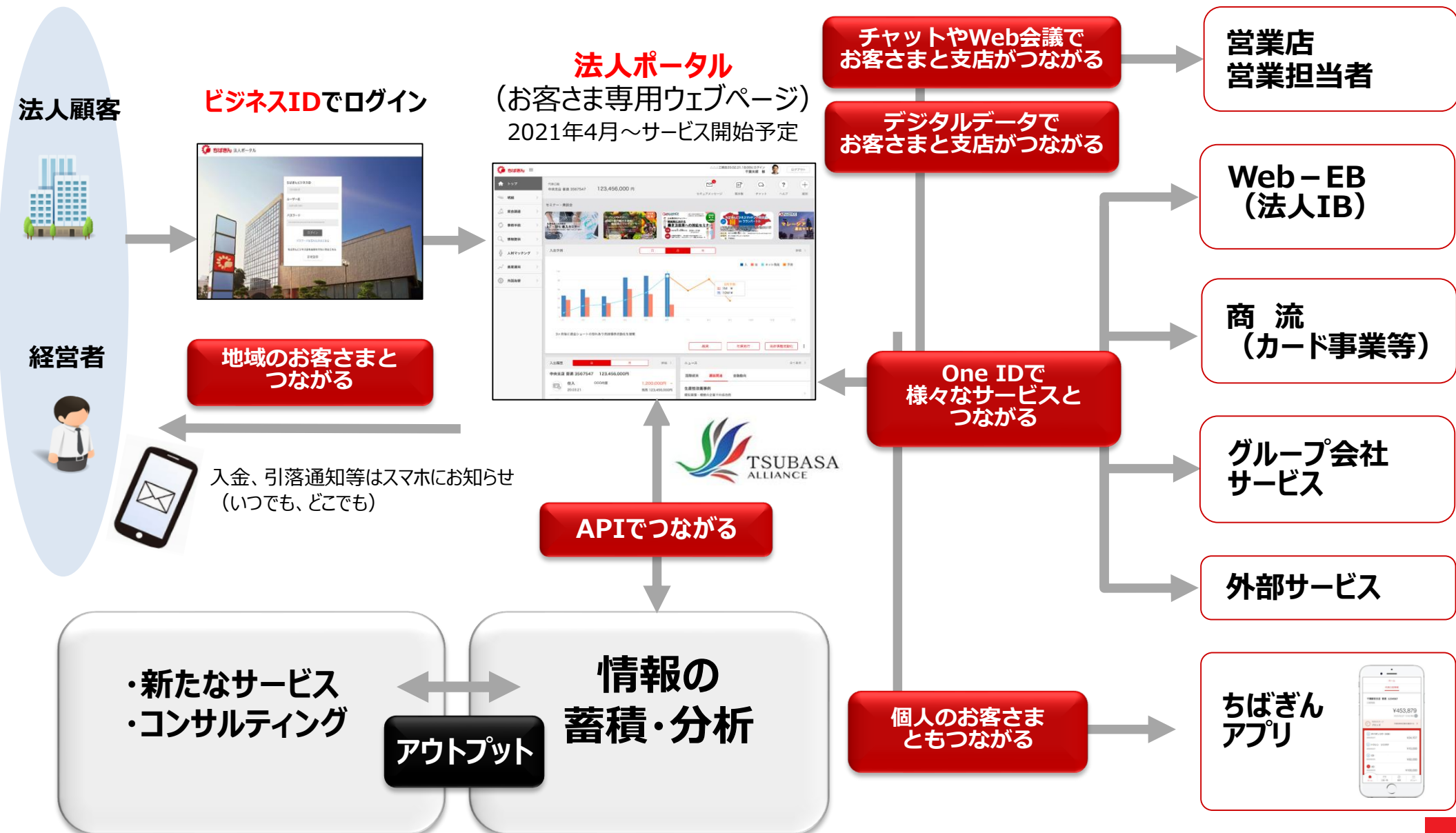
第3フェーズ以降

- ・振込（他行宛）
- ・諸手続き（住所変更等）
- ・eKYC（電子上の本人確認）
- ・カードローン
- ・税支払
- ・アプリローン
- ・ライフプランシミュレーション
- ・少額投資 等

開発の自由度や拡張性を確保しながら、
当行の中核チャネルへ発展させていく

法人ポータル

あらゆるお取引先に対する「デジタル窓口」



デジタルコンセプトムービー

アクティブシニアの夫婦。
人生100年時代の中で 漠とした不安がある。
趣味を満喫したい、残りの人生を豊かに暮らしたい
そんな漠とした不安 しかし 叶えたい希望を、
「未来へ、つながる・超える」
千葉銀行のデジタルサービスが支援する将来の様子を描きました。



業績概要・株主還元

コロナ禍においても、2021年3月期業績は順調に推移

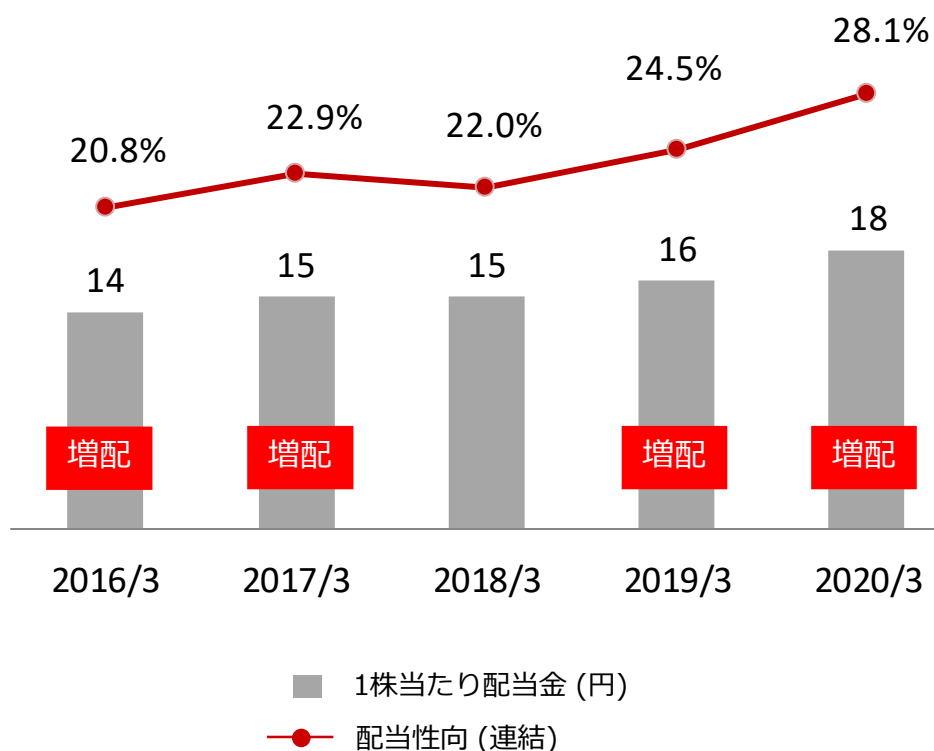
- 当期純利益の上期進捗率は、2021年3月期計画に対して単体59%、連結55%と順調に推移
- 通期の当期純利益は、単体460億円（前期比+0億）、連結485億円（同比+4億）を計画

単体	(億円)	2020/3	2021/3	前期比	2020/3	2021/3	前年同期比	進捗率
		上期	(計画)		上期	上期		
業務粗利益		1,527	1,562	34	787	790	3	50%
うち、資金利益		1,236	1,224	△ 12	644	629	△ 14	
うち、役員取引等利益		226	259	32	108	127	19	
経費 (△)		819	873	53	404	414	9	
実質業務純益		708	689	△ 19	383	376	△ 6	54%
コア業務純益		675	672	△ 3	367	367	△ 0	
除く投資信託解約損益		642	635	△ 7	339	344	5	
一般貸倒引当金純繰入額 (△)		12	8	△ 4	19	11	△ 8	
業務純益		695	681	△ 14	363	365	1	
臨時損益		△ 16	△ 41	△ 24	32	9	△ 23	
経常利益		678	640	△ 38	396	374	△ 21	58%
当期純利益		459	460	0	288	274	△ 14	59%
与信関係費用 (△)		95	80	△ 14	47	36	△ 11	
連結	(億円)	2020/3	2021/3	前期比	2020/3	2021/3	前年同期比	進捗率
連結経常利益		726	695	△ 31	399	386	△ 12	55%
親会社株主に帰属する当期純利益		480	485	4	278	270	△ 8	55%

成長投資と資本基盤のバランスを勘案した株主還元を実施

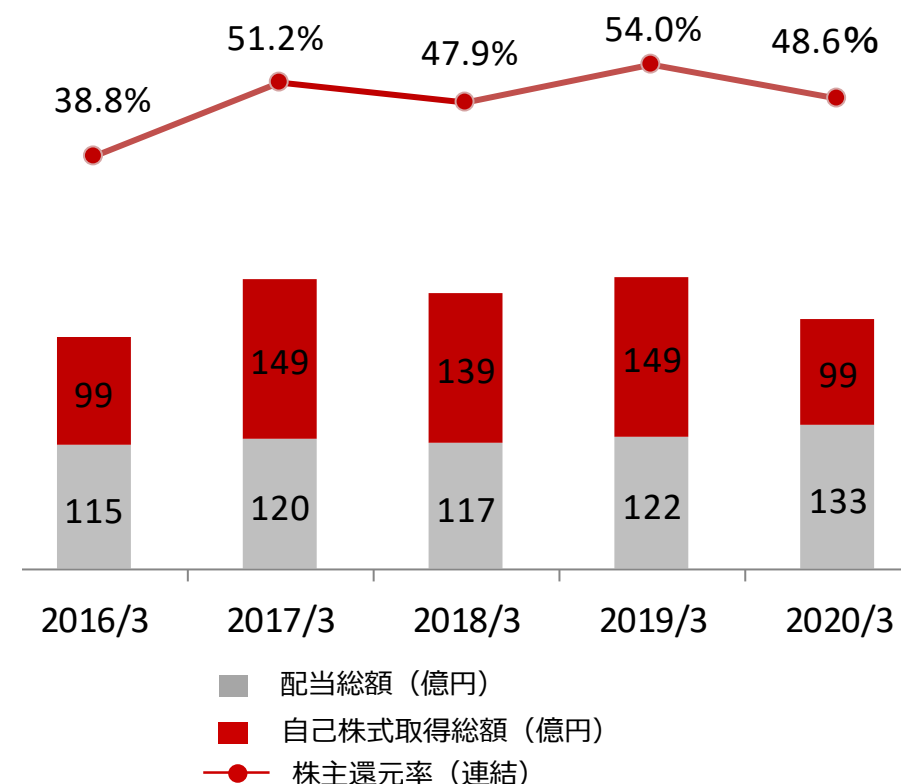
配当実績

利益成長をつうじた1株当たり配当金の
安定的な増加を目指す



株主還元実績

安定配当と柔軟かつ機動的な自己株式取得による
資本効率の向上に努める



※株主還元率 = $\frac{\text{株主還元総額 (配当支払額 + 自己株式取得額等)}}{\text{親会社に帰属する当期純利益}}$

株主優待制度

＜優待基準（毎年3月末）＞ 魅力ある特産品等を贈呈

基準日現在		継続保有期間
		1年以上
保有株式数	1,000株以上 10,000株未満	特産品 A〔3,000円相当〕
	10,000株以上	特産品 B〔6,000円相当〕

- ・ 継続保有期間1年以上の株主さまを対象とします。
- ・ ESGやSDGsの観点で踏まえた商品の追加を検討しています。

TSUBASAアライアンス
共同企画コースもご用意


地方銀行5行（当行・第四北越・中国・伊予・東邦）が連携し、地元の魅力ある特産品等を相互に提供



詳細はこちら

＜特産品カタログの掲載品例＞

カタログに記載された千葉県の特産品等からお好みの商品をお選びいただけます。



參考資料

株式指標・千葉銀行株価の推移

主要株式指標

上場（証券コード）	東証1部（8331）
直近株価	569円
売買単位	100株
EPS：1株当たり利益	63.99円
PER：株価収益率	8.89倍
BPS：1株当たり純資産	1,250.41円
PBR：株価純資産倍率	0.45倍
配当利回り	3.51%

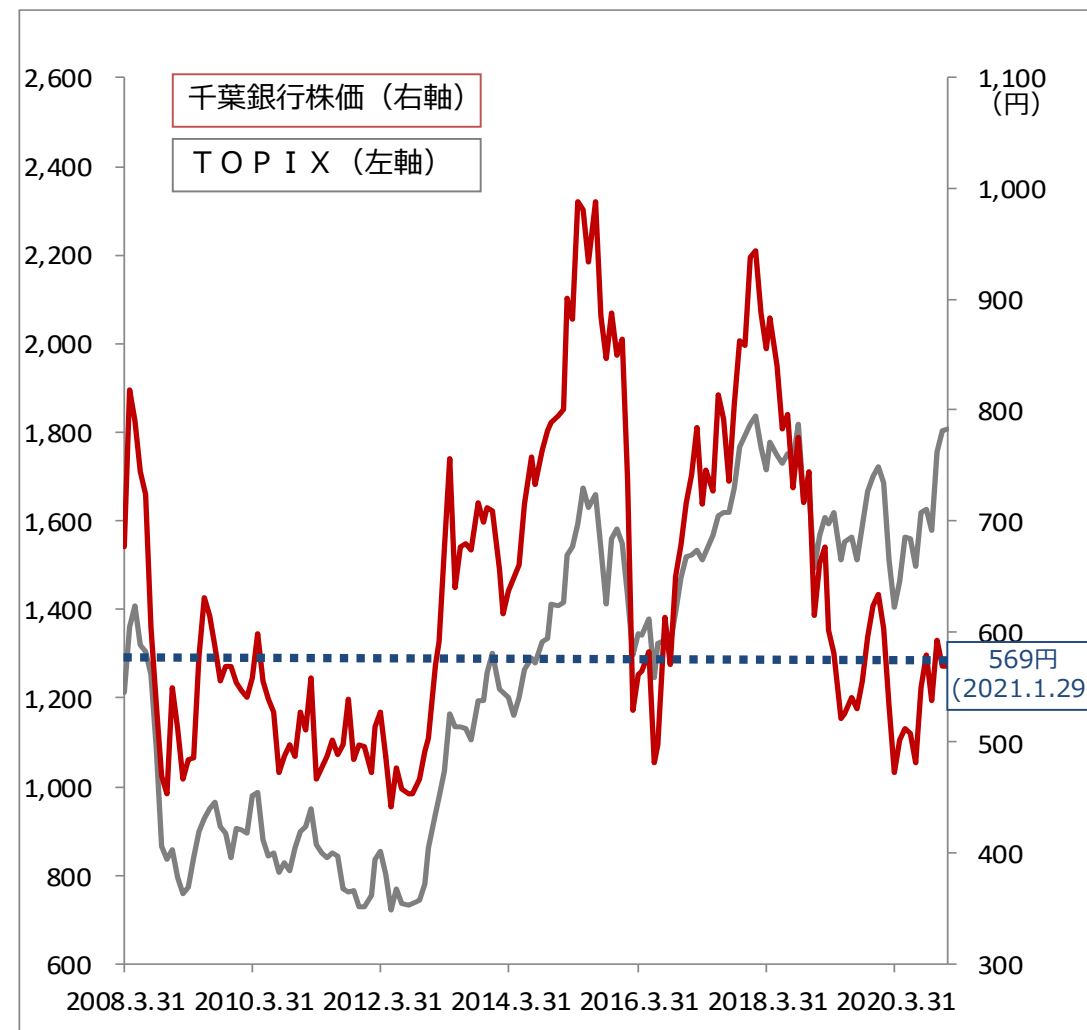
- ・ 直近株価は2021年1月29日終値
- ・ EPS・BPSは2020年3月期実績
- ・ 配当利回りは2021年3月期予想（1株あたり年間配当金20円）をもとに算出

EPS：当期純利益／株数 PER：株価／EPS

BPS：純資産／株数 PBR：株価／BPS

配当利回り：配当金／株価

株価推移（月次終値）：2008年3月～2021年1月

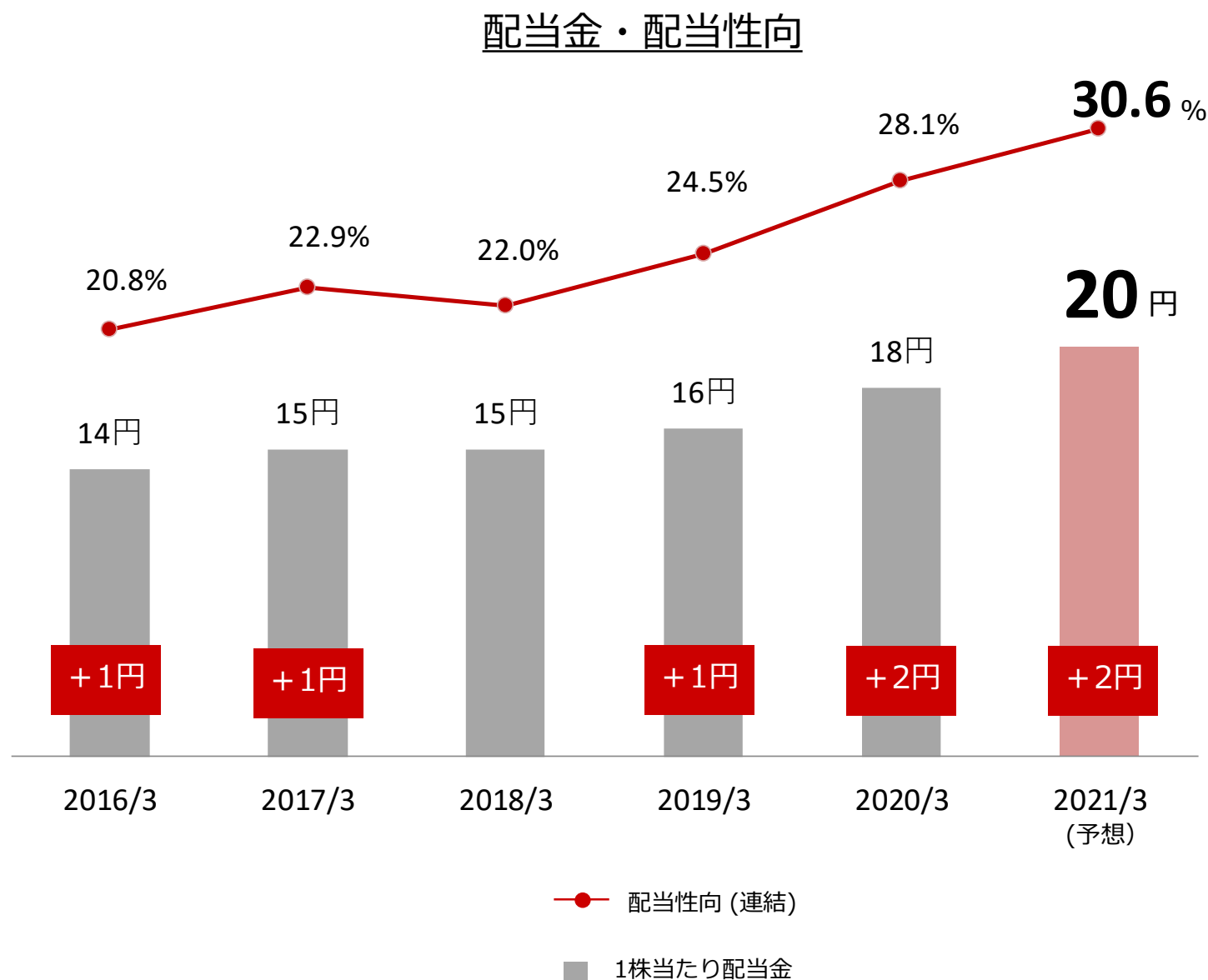


2021年3月期業績は、第3四半期も引き続き順調に推移

- 当期純利益の進捗率は、2021年3月期計画に対して単体・連結ともに83%と順調に推移
- コロナ禍においても業務粗利益は前年同期比+29億円と増益で着地し、与信関係費用は前年同期比△26億円と抑制されている

単体	(億円)	2020/3	2021/3	前期比	2020/3	2021/3	前年同期比	進捗率
			(計画)		1-3Q	1-3Q		
業務粗利益		1,527	1,562	34	1,154	1,184	29	75%
うち、資金利益		1,236	1,224	△12	948	951	3	
うち、役務取引等利益		226	259	32	157	182	25	
経費(△)		819	873	53	606	647	40	
実質業務純益		708	689	△19	548	536	△11	77%
コア業務純益		675	672	△3	528	535	7	
除く投資信託解約損益		642	635	△7	491	497	5	
一般貸倒引当金純繰入額(△)		12	8	△4	23	13	△9	
業務純益		695	681	△14	525	523	△1	
臨時損益		△16	△41	△24	31	9	△21	
経常利益		678	640	△38	556	533	△23	83%
当期純利益		459	460	0	400	384	△15	83%
与信関係費用(△)		95	80	△14	73	46	△26	
連結	(億円)	2020/3	2021/3	前期比	2020/3	2021/3	前年同期比	進捗率
連結経常利益		726	695	△31	588	581	△7	83%
親会社株主に帰属する当期純利益		480	485	4	410	405	△5	83%

2021年3月期の年間配当は、1株あたり2円増配の20円を予定



本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは
下記 I R 担当までお願いいたします。

株式会社千葉銀行 経営企画部（I R 担当）

Tel : 043-301-8459

Fax: 043-242-9121

E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。